

どうやってやる  
の？

# 米の作り方



## ① 土作り

土作りとは米を植える前に田んぼを準備することです。

- ・ 田んぼを耕す「田起こし」
- ・ 水田の水が外に漏れないようにする「畔（あぜ）塗り」
- ・ 基肥という稲に必要な栄養を加える「田すき」
- ・ 水を入れて田んぼを均一に

して根を張りやすいようにする「代かき」



稲刈りが終わったら、すぐに秋から冬にかけてすき込みます。

「秋耕」で下準備し、春に暖かくなりはじめたら生えてきた雑草をすき込んで残りを分解する「春耕」でたんぼを耕します。

## ② 種・苗の準備

移植栽培では種を直接たんぼにまくのではなく、べつの場所で種から苗まで育ててからたんぼに植え付けます。

まずは重い種もみを選ぶ「塩水選」です。うるち米の場合比重を1：1.3に調整した塩水を作り底にしずんだものを使います。種には病原菌がついている可能性があるので

消毒します。

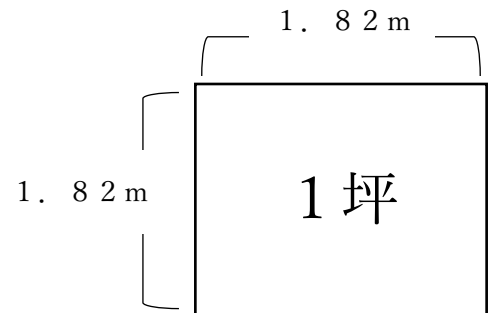
消毒が終わったら苗になるまで育てるために「苗代」に種をまきます。その後弱い光を2、3日あて「緑化」させ、徐々に自然にならします。

### 3 田植え



苗の根が絡み合い、植えやすくなったら田植機で苗を植えます。だいたい2、3本を一つとし1坪あたり50～70

株となるように植えていきます。



#### 4 管理と除草

稲はまず「分けつ」で茎の数を増やします。この時期はいろいろな管理をします。そのうち、除草の方法には以下のようなものがあります。

- ・ 化学的除草 除草剤など
- ・ 生態的除草 堪水させる
- ・ 生物的除草 生き物など



- ・ 機械的除草 人や機械など



## 5 追肥と水ぬき

稲の状況によって「つなぎ肥」など窒素・カリ・リン酸などを適量で加えて肥料を加えます。また水の深さも管理します。

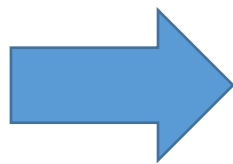
- ・ 深水管理 植えた後 5 ～ 7 cm ぐらいにして苗を守ります。

- ・ 浅水管理 成長し始めたころから分けつした後 2 ～ 4 cm 程度に地温をあげて分けつを

促します。

・ 中干し 分けつのピーク頃  
水をぬいて土に亀裂が入るま  
で干す 湛水と落水をくり返し  
水分と酸素の補給を交互に行  
い水を張って根を育てる 1～  
2 週間を目安に水をぬきます。

この後



参考：ごほん彩々（さいさい）